

森 かな

～須崎地区森林組合広報～



- 02 24年度に向かって(組合長再任の挨拶)・平成24年度総代会
- 04 夏休み木工教室・生活林伐採を請け負います
- 06 森林の集約化について・再造林について・その他

平成24年度 役員名簿

選挙区	役職	氏名
須崎市地区	代表理事組合長	北澤 利文
須崎市地区	理事	鍋島 彰
須崎市地区	理事	大崎 稔
須崎市地区	理事	久保 文彦
須崎市地区	理事	津野 正男
中土佐町地区	理事	黒原 美一
中土佐町地区	理事	原 悦男
中土佐町旧大野見村地区	理事	細木 啓延
中土佐町旧大野見村地区	理事	南部 昭雄
津野町旧葉山村地区	理事	西森 盛幸
津野町旧葉山村地区	理事	高橋 信行
土佐市地区	理事	森岡 雄二郎
津野町旧葉山村地区	代表 監事	下元 弘暢
須崎市地区	監事	松浦 土佐男
中土佐町旧大野見村地区	監事	青木 孝夫

産材自給率25%を50%にアップ②公共施設に国産材の利用促進（東京都港区）で内装材に国産材を使用したモデルビル建設計画等③バイオマスエネルギーに係る木材買取制度への取り組み④国産材利用促進へエコポイント制⑤ヒノキ精油に低燃料効果（燃費約20%向上）等、僅かですが林業に光が見えて来ている。しかし、この項目も直ぐには結果に結びつきませんのであらゆる情報収集を行い、日々研鑽し、しっかりと森林整備に取り組み後世へ付加価値のある森林を繋げて行くことを、森林組合の使命として取り組んでいきます。

以上を持ちまして、再任の挨拶とさせていただきます。



平成24年度に向かつて

平成23年度より森林林業再生プラン構想が動き出しました。現場を担当する森林組合としては従来手法との違いや、新制度への移行時間の少なさも合いました。戸惑いを隠せませんでした。平成23年度は現行制度の最終年度として、切り捨て間伐、作業道開設等に取り組み一定の成果を得ることが出来ました。

しかし新年度に入っても依然不景気は続いており木材需要は落ち込み、東日本大震災の復旧にも時間が掛かり復興需要もありません。国有林、又、全国の森林組合から新制度での原木供給増産体制改革に着手をしたものの、外国産材対策がなかったことで木材製品にだぶつき現象が起こり、今年の3月以降、木材価格が今まで経験したことのない安値で推移しています。機会ある毎に林業の浮揚について要望していますが有効な解決策は見つかっていません。しかし政府の打ち出した「森林林業再生プラン・国産材自給率現状25%から50%にアップ」の方針に変わりはなく、これからは森林の集約化を図り、森林経営計画を作成し、森林作業道などインフラを充実させ、間伐材の搬出事業に取り組みなければなりません。このような状況下でも、かすかな「夢」を「希望」を感じさせる新しい動きがあります。昨今の林業の動きとして①木材増産計画(国

平成24年度 総代会

損益計算書 (自平成23年4月1日～至平成24年3月31日)

科目		小計	合計	指導	販売	加工	森林整備
総損益事業	事業総収益	35,884,272		65,239	47,608,981	21,837,959	266,372,093
	事業総費用	261,259,048		1,772,734	39,974,150	21,186,284	198,352,880
	事業総利益		74,625,224	△1,707,495	7,661,831	651,675	68,019,213
損益事業	事業管理費		83,111,361	1,942,860	12,739,984	1,457,056	66,971,461
	事業利益		△8,486,137	△3,650,355	△5,078,153	△805,381	1,047,752
経常損益	事業外収益	13,624,228					
	事業外費用	4,851,199					
	事業外損益		8,773,029				
特別損益	経常利益		286,892				
	特別利益	0					
	特別損失	3,155,230					
特別損益			△3,155,230				
当期剰余金			△2,868,338				
前期繰越剰余金			15,312,237				
役員退任慰労積立金取崩額			0				
当期末処分剰余金			12,443,899				

剰余金処分案 (平成23年度) (単位:円)

摘要	内訳	小計	合計
I. 当期末処分剰余金			12,443,899
II. 剰余金処分額			
法定準備金		2,500,000	
その他利益剰余金		1,000,000	
			3,500,000
III. 次期繰越剰余金			8,943,899

総合貸借対照表 (平成23年度)

資産の部		負債の部		
流動資産	現金・預金	77,562,319	受託販売預り金	4,342,472
	売掛金・未収金	3,628,471	買掛金	2,702,849
	棚卸資産	23,251,718	未払金	111,085,143
	その他	228,973,067	短期借入金	218,600,000
	小計	333,415,575	当座借越	25,479,175
固定資産	有形固定資産	249,537,561	その他	32,695,214
	外部出資金	37,271,500	小計	394,904,853
	農林漁業資金貸付金	0	長期借入金	25,710,000
	その他	7,298,108	農林漁業資金借入金	0
	小計	294,107,169	退職給付引当金	23,704,760
合計	627,522,744	小計	49,414,760	
		純資産の部		
		出資金	120,651,500	
		利益剰余金	60,551,631	
		資本準備金	2,000,000	
		小計	183,203,131	
合計		627,522,744	合計	627,522,744

第三十七回総代会が去る六月三十日、須崎市市民文化会館で開催され、議長に須崎市 山崎旭郭氏を選任、議案全てを原案通り可決承認されました。平成二十三年事業活動については厳しい状況ではありましたが、現行制度の最終年度として加速化事業、切捨て間伐・作業道開設)を中心に取り組み一定の成果を出せました。引き続き新年度も新規事業に積極的に取り組み経費管理の節減に努め堅実な運営に努力致します。



みなさん上手に出来ました!

夏休み木工教室を開催しました

先日八月十二日に行われた木工教室。蒸し暑い中、須崎市、中土佐町、津野町をはじめ、高知市内からも参加頂き、総勢百二十人のお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん達が子供達と一緒に、トントンカチカチ一つの木工作品を家族一丸となつて頑張っていました。

今年は十八種類のキットを用意。“自分用に(笑)”とキットを追加購入して棚を作つて帰るお父さんやお母さんもいました。作品を持って帰る後ろ姿からは「一つのを家族で頑張つて作った」達成感と心地よい疲労感が。きつと子供達の心にも夏休みの一つの思い出として残ってくれる事だろうと思いつつ皆さんを見送りました。

また懸命に作品を作っている子供達やそのご家族を見て私たち職員も和み、楽しめました。ありがとうございました。来年もまたよろしくお願いします。



そして「大人も」木の温かみのある自分だけの木工作品を・・・

須崎地区森林組合の木工部門では、杉・ヒノキの色々な要望に対応できる木材があります。ふらっと来て、気に入った木材があったら、気軽にまず相談！

他にない、自分だけの一枚板のテーブル、椅子、涼み台などを作ることが出来ます。もちろん、木材のみ購入し自宅で作ることも可能ですので、まずは気軽に遊びに来て下さい。



『こんなあったらいいな!』のリクエストの声もお待ちしております!!

生活林伐採を 請け負います。

生活林伐採とは、ご自宅の庭や裏山の気になっている木や雑草を伐採し、生活環境の改善を図る事業です。

新築当時は気にならなかつたはずの庭木や裏山の木、雑草が、ふと周りを見てみるといつの間にか大きく成長してしまい、わが家の安全や日当たりを脅かしているということがありませんか。お子さんの通学路、通勤路で気になる木や草ムラがありませんか。

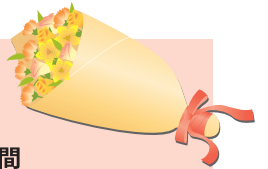
そういうところがあれば、森林組合がご相談に乗ります。生活林伐採での受注はここ2、3年の間に急増しており、神社、学校、公共施設周辺の大木等あらゆる現場に対応しており実績、経験は問題ありません。ぜひお気軽に左記の電話番号にご連絡ください。また御見積も無料ですのでご相談ください。担当がご都合の良い日にお伺いします。



連絡先
電話：0889-43-0030
FAX：0889-43-0031
Email：susashin@shirt.ocn.ne.jp



「空師の仕事を受け継いでくれる人材が育ってくれたら嬉しいです。現場での事故や労働災害がでないように、これからは頑張ってください。そして、須崎地区森林組合が発展していくよう願っています。」



27年間
ありがとうございました

平成二十四年五月三十一日をもって、長年勤めていただいた大崎豊秋さんが退職されました。

昭和六十年か

らの二十七年間、林産現場最前線で、また暑さ寒さの厳しい中でも作業していただきました。

高度な技術力と知識を持ち合わせている大崎さんは、現場、事務所から大変信頼され作業を任されていました。

大崎さんの抜けた穴を埋めるのは容易ではありませんが、共に作業をし、指導していただいた若手が頑張ってくれています。

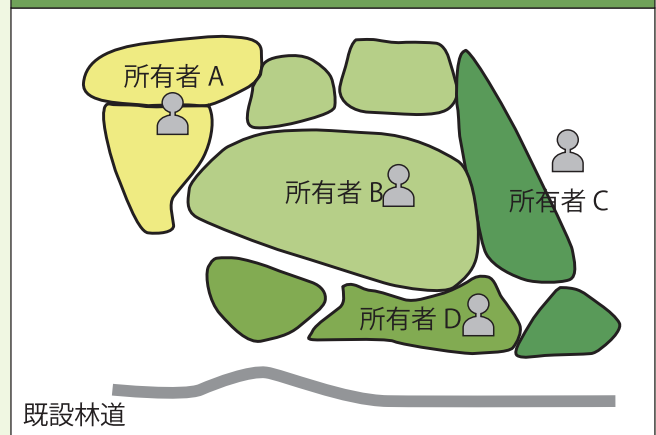
二十七年間もの長期にわたり林業発展に貢献していただき、本当にありがとうございます。

森林の集約化について

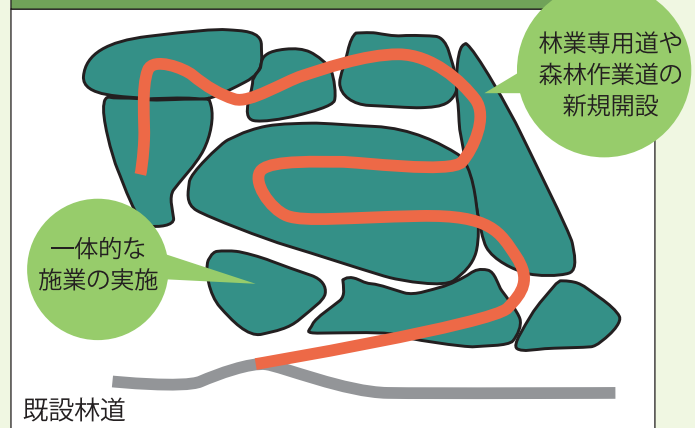
須崎地区森林組合管内の人工林が利用可能な時期を迎えつつある中、間伐を推進する為に、小規模で分散した森林をとりまとめ、低コストで効率的な森林整備を行う必要があると考えています。

そこで森林の集約化を行うにあたり、座談会及び個別訪問等をさせていただきたいと思っておりますのでご協力お願いいたします。

小規模分散型の所有形態



集約化



再造林について

再造林とは人工林を伐採した跡地に
植林をすることです。

平成二十四年度からの再造林について、平成二十三年度と比べ、補助金の採択要件が変更されています。

また再造林の新規事業として、シカ被害防護ネット設置の事業ができました。

上記の事業に関してご質問、お問い合わせ等がありましたら、森林組合までご連絡をお願いします。

※伐採届の提出なし、計画等の樹立なしは補助の対象になりません。

※伐採届の提出、もしくは計画の樹立があれば、補助の対象になります。

編集後記

木工教室を中心に発行させていただきました。参加してくれた子供達が大人になった時、森林がもつその機能を十二分に発揮されているように森林整備を推進していくことが重要であると感じました。今現在林業は非常に厳しい状況ですが、組合員の皆様をはじめ関係機関の皆様にご協力いただき、なんとか乗り越えていきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。(竹村)

須崎地区森林組合

〒七八五〇〇二四 高知県須崎市安和九三五番地
電話 0889-4310030